

2 2 陳 情 第 1 号	学校選択制度に対する陳情
付 託 委 員 会	文教委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成 2 2 年 2 月 1 8 日 受 理、 平 成 2 2 年 2 月 2 6 日 付 託
陳 情 者	新宿区築地町———— 代表 ————— ほか——名
<p>(要 旨)</p> <p>学校選択制度を廃止して下さい。 学校は地域の核となりこの地域に必要と感じています。</p> <p>(理 由)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 牛込A地区では、0～5歳児の人口推計（H25年まで）を見ると子供の数は増加傾向にあります。 2 学校選択制は、地域のつながりを希薄にするというマイナス面が問題視され、全国的にも見直す自治体が出てきています。東京都でも地域のネットワークがしっかり築かれている区では、学校選択制をはじめから導入していません。 3 子供が親の目の届く距離の学校に通うことは、非常災害時や安全面でも大切であり、一年生が無理なく通える通学区域が望ましいと考えます。 4 小規模校を選んだ保護者に不安をあおるような誘導的な言い方や、少人数学級はデメリットが多いような偏った情報提供など、教育委員会のやり方に多くの人達から疑問の声が出ています。 5 「地域の子は地域で育む」ことを当たり前とする人情あふれる町の気質は、牛込地区の誇れるものであり、子供と接すること（行事などの参加）を生きがいとする大人がたくさんいます。 学校はこの地域に必要と感じています。 	